

RPPC メールマガジン 第 781 号

リサイクルポート推進協議会（令和元年 7 月 4 日）

■事務局からのお知らせ

「第 1 回 災害廃棄物処理検討部会」開催について

日時：令和元年 7 月 9 日（火） 15：00～

場所：みなと総合研究財団 3 階 会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3 丁目 1 番 10 号

第 2 虎の門電気ビルディング 3 階

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 国土交通省港湾局、クルーズ振興関連施策を推進

国土交通省港湾局は今年度、クルーズ振興関連施策を推進する。大型クルーズ船等の新規寄港促進を目指し受入れ円滑化に向けた方策を検討するほか、日本発着クルーズ等の振興策についても検討し、旅客ターミナル施設に求められる要件等を整理したガイドラインをまとめる方針。

このほか振興施策を進めるための基礎となるクルーズ関連統計調査の実施についても検討する。年内に統計の考え方をまとめ、来年 1 月から調査開始できるよう全国の港湾管理者に通知する見込み。

---

2. 長崎港松が枝観光船埠頭の整備促進等

長崎県は令和 2 年度の国に対する港湾関係重点要望として、長崎港松枝地区の観光船埠頭の整備促進のほか、地方創生の拠点となる港湾整備として厳原港の国内・国際ターミナルの再編、肥前大島港岸壁整備、用地造成を挙げている。

長崎港松が枝地区の観光船埠頭では昨年 10 月、既存岸壁の延伸としてそれまでの 10 万 t 級バース（水深 12m、延長 360m）から 15 万 t 級（410m）バースが完成し供用になっている。ただ 1 バースでは長崎港に寄せられる年間約 580 隻程度の入港要望に対して 6 割程度（平成 30 年実績で 220 隻入港）しか受入が出来ない。このため令和元年度には国の事業化検証調査として、長崎港松が枝地区の新たなクルーズバース船用岸壁の事業化に向けた調査が行われることになっている。

長崎県では旅客船の2バース化が実現すると、背後に集積する世界遺産と調和した都市空間の形成など周辺地域の再開発にもつながり、海の玄関口としての整備や地方創生の拠点として地域の振興に大きく寄与する、としている。

---

### 3. 神戸港、第5防波堤撤去工事など手続き

近畿地方整備局神戸港湾事務所は、神戸港の新港航路変更計画に対応し、このほど第5防波堤撤去等工事（第1工区）を公告した。同防波堤の撤去は昨年度末に契約になっている西側半分の約270m（ケーソン21函）に続くケーソン18函の上部工が対象。また同工事では第5防波堤の内側にある旧第5防波堤（PCセル構造）についても試験的に2函分のセル撤去を行う。

試験結果は同構造の今後の撤去に活かす。

神戸港では新港航路に係わる港湾計画変更や大阪湾岸道路西伸部計画への対応などで第5防波堤の撤去が必要になる。このため第5防波堤延長約1.2kmのうち、安全な航路幅を確保する約510m程度を撤去する。撤去工事は上部を撤去したのちケーソン本体の撤去へと2段階で進める方針にしている。

また第5防波堤の背後にはPCセル構造の旧第5防波堤があることから、今後同防波堤についても撤去工事を進める。

【港湾空港タイムス7月01日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：外山、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください。